

「ローマ字」とは

日本語は、ヨーロッパで生まれた文字を用いて書き表すことができます。このような書き表し方を、**ローマ字表記**といいます。ローマ字表記は、わたしたちの身の回りのさまざまなところで使われています。

ローマ字のきまり

① ア行の音は、母音 (aiueo) 1 字で表されます。力行から下の音は、2 字いじょうが組み合わされています。たとえば、力行は、k (子音 aiueo いがい) + 母音 (aiueo) になっています。

か き く け こ
 k+a k+i k+u k+e k+o
 ka ki ku ke ko

② 「きゃ」「きゅ」「きょ」などの音は、「kya」「kyu」「kyo」のように、3 字で書き表します。

例：電車⇒densya 金魚⇒kingyo

③ つまる音は、「きっぷ」⇒「kippu」のように、次の音のはじめの文字をかさねて書き表します。

例：にっき⇒nikki がっき⇒gakki

力行

	アのたん	イのたん						
大文字	A	I	U	E	O			
	あ	い	う	え	お			
	a	i	u	e	o			
K	か	き	く	け	こ	きゃ	きゅ	きょ
	ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
S	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しゅ	しょ
	sa	si	su	se	so	sha	shu	sho
		[shi]				[sha]	[shu]	[sho]
T	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちゅ	ちよ
	ta	ti	tu	te	to	tya	tyu	tyo
		[chi]	[tsu]			[cha]	[chu]	[cho]
N	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にゅ	にょ
	na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
H	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひゅ	ひょ
	ha	hi	hu	he	ho	hya	hyu	hyo
			[fu]					
M	ま	み	む	め	も	みゃ	みゅ	みょ
	ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
Y	や	(い)	ゆ	(え)	よ			
	ya	(i)	yu	(e)	yo			
R	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りゅ	りょ
	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
W	わ	(い)	(う)	(え)	を			
	wa	(i)	(u)	(e)	(o)			
	ん							
	n							
G	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ
	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
Z	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じゅ	じょ
	za	zi	zu	ze	zo	zya	zyu	zyo
		[ji]				[ja]	[ju]	[jo]
D	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢゅ	ぢょ
	da	(zi)	(zu)	de	do	(zya)	(zyu)	(zyo)
		[ji]				[ja]	[ju]	[jo]
B	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びゅ	びょ
	ba	bi	bu	be	bo	bya	byu	byo
P	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴゅ	ぴょ
	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo

[]の中の書き方も使うことができる。()は、重ねて出ているもの。



三年「ローマ字」

単元

氏名

年組番

チャレンジシート① 学ぶ

学習日 年 月 日

三年「ローマ字」	単元
氏名	年組番
12問	

学習日 年 月 日

1 次のローマ字をひらがなで書きましょう。

- (1) usi (2) tyōtyō (3) syukudai (4) kitte
 () () () ()

2 表を見ながら、□や○の中に文字を入れましょう。

- (1) ○me (2) □okei (3) ek○ (4) ud○n
 (あめ) (とけい) (えき) (うどん)

3 次のひらがなをローマ字で書きましょう。

- (1) うま (2) はな (3) くるま (4) めだか

.....

じぶんだけのすてきなめいしを作ろう。



ふきだしの中に、当てはまる言葉をローマ字で書いてみましょう。ふきだしの中の言葉をもとにして、あなただけのすてきなめいしを作りましょう。『 』の中は、めいしにかき入れたいことを自由に考えて書きましょう。

『nen, kumi』

『namae』

『sukina benkyou』

『gakko』

『nigaoe』

『sukina tabemono』

『syumi』

『hitokoto』

『sukina dôbutu』

三年「ローマ字」

単元

氏名

年

組

番

9問

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日

年

月

日

チャレンジシート② きほん

単元	年組番	11問
三年 心にとったことを、自分の言葉で表そう「モチモチの木」	氏名	

教科書104ページから106ページ3行目までを読んで次の問題に答えましょう。

1 語り手は、豆太のことを どう言っていますか。

2 1のように言っているのは、どうしてですか。

3 じさまは、真夜中でも豆太にどうしてくれますか。



4 じさまは、豆太をどう思っているか、わかる文を書きぬきましょう。

5 豆太のおとうやじさまは、どんな人ですか。一つ選んで、○をつけましょう。

① () おくびょうな人

② () こわい人

③ () できょうのある人

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単元	年組番	7問
三年 心にのこったことを、自分の言葉で表そう「モチモチの木」	氏名	

教科書109ページ5行目から114ページ7行目までを読んで次の問題に答えましょう。

1 豆太は、なぜ目をさましたのですか。

2 豆太は、なぜ医者様をよびに行こうと思ったのですか。

3 なきながら、ふもとの医者様へ走る豆太のすがたを読んで、豆太の人がらについて、自分の思ったことを書きましょう。

4 齋藤隆介さんの作品の中から一つを選んで読み、次のような内容でポスターをつくりましょう。



題名	↓	
心にのこったこと	↓	
どこを読んで、それが心にのこったのか	↓	
(文章の引用)	↓	

単 元	年 組 番	問
三年「ありがとう」をつたえよう	氏 名	

手紙の型

手紙は、ふしう、次の部分からできています。

- ① はじめのあいさつ
きせつの言葉を入れたり、相手の様子をたずねたりします。こちらのことをよく知らない相手には、じこしょうかいをします。
- ② 本文
お礼やおねがい、あんないなど、その手紙で伝えたいことを書きます。
- ③ むすびのあいさつ
わかれのあいさつや、相手のけんこうを気づかう言葉などを書きます。
- ④ 後づけ
日づけ、自分の名前、相手の名前のじゅんで書きます。

あて名の書き方

○相手のじゅんご

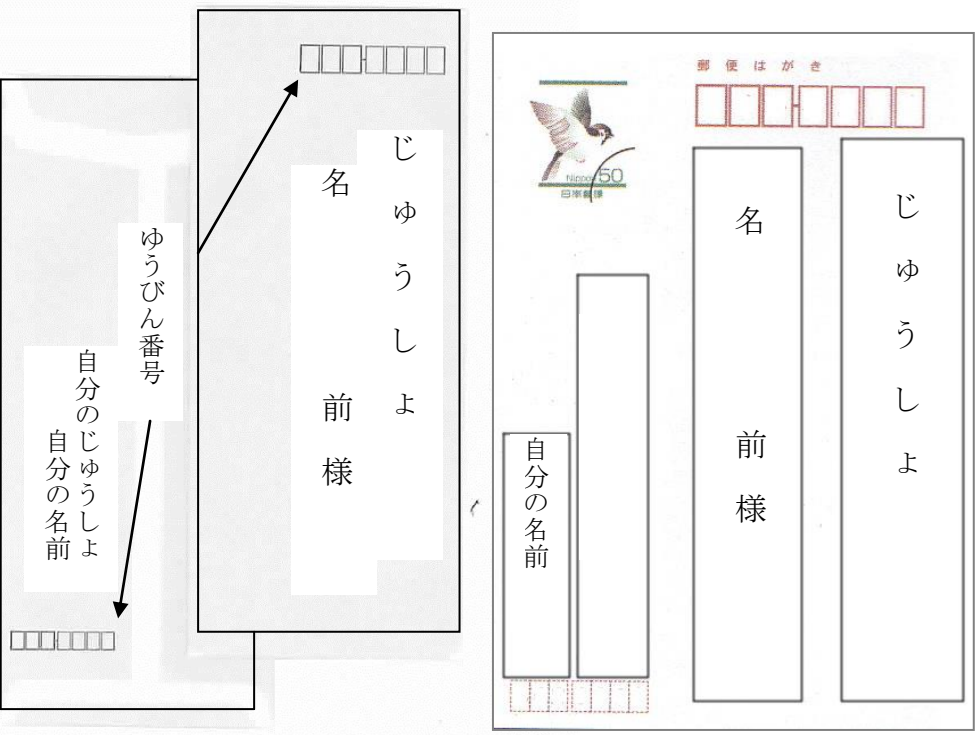
右がわに書く。一行にならぬときは、くわりのよこじゆんごを行をかえぬ。

○相手の名前

中央に、少し大きめに書く。相手の名前の後には、「様」を書く。会社や団体に出すときは、「様」の代わりに「御中」を書く。

○自分のじゅんごや名前

自分のじゅんごや名前は、少し小さな字で書く。はがきの場合には切手のたて、ふしうの場合にはふしうのついでに書く。



三年「ありがとう」をつたえよう	単元	年 組 番	4問
氏名			

1 手紙の型に合わせて下の内容を結んで、手紙を完成させましょう。

はじめの
あいさつ

この間は、わたしたちのしつもん answered くださ
って、ありがとうございました。商品のならべ方や、
はたらいている人たちの思いがよく分かりました。

本
文

七月一日
内田 高広 様
大田 あすか

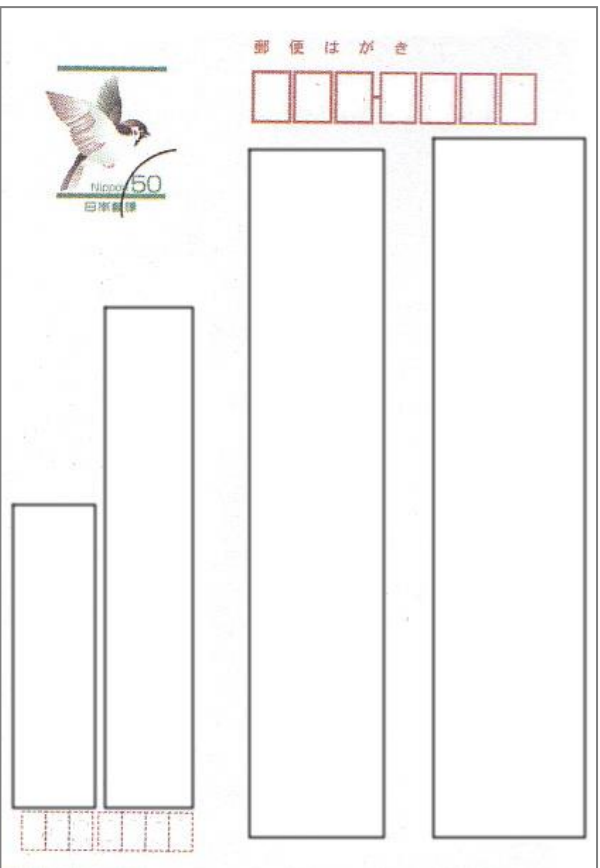
むすびの
あいさつ

あつい日がつづいていますがお元気ですか。
先週の社会科の学習でお話をうかった北九小学校
三年二組の大田あすかです。

後
づけ

これからもお体に気をつけて、おすごしください。
さようなら。

2 教科書の86ページを見て、あて名の書き方を練習しましょう。



自分が手紙を
出したい相手の
じゅうしよを調
べて、書いてみま
しょう。
じゅうしよや
相手の名前は、で
きるだけ漢字で
書きましょう。

単 元		年 組 番	
三年 場面のようすを思いうかべ、音読しよう 「きつつきの商売」			
氏	名		

○ 場面のようすがつたわるように音読を工夫しましょう。

1 音読記号をつくると、どこでどのようように読むのかが、一目でわかるようになり
ます。自分の音読記号をつくってみましょう。

〈例 大きく…く ゆっくり… 切る… など〉

読み方	記号	読み方	記号
大きく		強く	
小さく		弱く	
ゆっくり		リズムよく	
長くのびす		間をあける	
短く切る			

2 音読しながら、ぴったり合う音読記号を書き入れましょう。

「さあ、いいですか。今日だけのとくべつな音です。お口をとじて、目をとじて、聞いてください。」

みんなは、しんとだまって、目をとじました。

目をとじると、そこら中のいろんな音が、いちどに聞こえてきました。

ぶなの葉っぱの、シャバシャバシャバ。

地面からの、パシパシピチピチ。

チャレンジシート② きほん

学習日 年 月 日

単元	年組番	7問
三年 場面のようすを思い浮かべ、音読しよう 「きつつきの商売」	氏名	

○ 教科書12～15ページの4行目を読んで、次の問題に答えましょう。

1 まつさぎにやって来たのは、だれでしたか。

() を ぴんと立てた () () 。

2 野うさぎは、どのようにしながらメニューから音をえらびましたか。

きつつきのさし出したメニューを () ()
メニューの () をゆびさしながら、 ()

3 きつつきは、野うさぎをどこに立たせましたか。また、きつつきは、どこに止まりましたか。

野うさぎ ()
きつつき ()

4 「きつつきも、うっとり聞いていました。」は、どのように音読するとよいでしょう。一つに○をつけましょう。

- () () 早口で、楽しそうに読む。
- () () 小さな声で、悲しそうに読む。
- () () ゆっくりと、気持ちよさそうに読む。

チャレンジシート② ジャンプ

学習日 年 月 日

三年 場面のようすを思いうかべ、音読しよう 「きつつきの商売」	単 元	年 組 番	6問
氏 名			

○ どんな動物がどんなお店を開いたら楽しいと思いますか。考えてみましょう。

動物 (りす) ()
 動物の持ちよう① (ふさふさのしっぽ) ()
 動物の持ちよう② (クルミを食べる) ()

<例>

お店の名前
 りすのそうじや

ふさふさのしっぽで、おうちの前や家の
 中をきれいにササツとはきます。

どんなうちでも、一けんニクルミ!
 ぜひこの機会にお立ち寄りください。

動物 () ()
 動物の持ちよう① () ()
 動物の持ちよう② () ()

お店の名前

() ()

単 元	年 組 番	
三年 漢字の音と訓 <small>おん くん</small>	氏 名	

漢字の音と訓について

漢字の読み方には、「音」と「訓」があります。たとえば、「人」には、つぎの二とおりの読み方があります。

人

(音) ジン・ニン 人口 人物
(訓) ひと 人から・人びと

「ジン」・「ニン」のような「音」の読み方は、聞いただけでは意味の分りにくいものも多く、「ひと」のような「訓」の読み方には、聞いただけで意味の分かるものがたくさんあります。



どうして「音」と「訓」があるのかな？

漢字は、はるかむかしに中国で生まれました。いっぽう、日本には、もともと文字がありませんでした。そこで、むかしの日本人は、となりの中国で使われていた漢字を使って、日本語を書き表わせるようになくなりました。

たとえば、中国語では「山」という漢字を「サン」というような発音で読んでいました。そこで、日本でもこの漢字を「サン」と読みました。これが「音」です。

それとはべつに、日本では、古くから「まわりの土地より高くなっていく所」のことを、「やま」といっていました。そこで、この漢字を「やま」とも読むことにしました。これが「訓」です。

だから「音」「訓」の二とおりの読み方があるんだね！



三年 漢字の音と訓	単元
氏名	年組番
20問	

1 教科書上巻135ページ〜138ページの「これまでに習った漢字」を見て、音と訓が入った漢字を探し、音読みと訓読みを使った文を作りましょう。

〈れい〉

岸	
訓	音
きし	ガン
文	文
ボートを川岸につけるのは、大変だった。	昨日、海岸で、きれいな貝をひろった。

(1)

訓 音
文 文

(2)

訓 音
文 文

(3)

訓 音
文 文

(4)

訓 音
文 文

単元

年組番

問

三年 言葉について考えよう

「言葉を分類する」

氏名

「分類」って

いろいろなものがあるとき、その中の、同じとくちようをもつものどうしをまとめると、全体をいくつかの集まりに分けることができます。

これを分類ぶんるいといいます。

何を表す言葉なのかに目を向けた分類



動きを表す言葉

投げる

すわる

走る

立つ

書く

守る

様子を表す言葉

うれしい

くやしい

大きい

青い

悲しい

赤い

悪い

物や事を表す言葉

音楽会

ボール

ノート

学校

遠足

うれしい

悪い

青い

学校

くやしい

赤い

守る

遠足

大きい

悲しい

書く

走る

ノート

音楽会

立つ

ボール

投げる

すわる

言葉にはさまざまな分け方がありますね。
言葉を分類すると、使い方や意味のちがいがよく分かります。

単 元		年 組 番	19 問
三年 言葉について考えよう		氏 名	
「言葉を分類する」			

1 次の□の中にある言葉を、何を表す言葉なのかに目を向けて、「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」に分類して表に書きましょう。

図書館 遊ぶ 楽しい 白い 強い ラケット あるく 運動会 そうじ
 バット おもしろい くるしい 飛ぶ スーパーマーケット 市役所

何を表す言葉なのかに目を向けた分類

動きを表す言葉

様子を表す言葉

物や事を表す言葉

2 次の文の【 】の中の言葉は、「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」のどれが入るでしょうか。下の□からえらび、()の中に、

記号（ア、イ、ウ）で答えましょう。

- (1) 友だちといっしょに公園で【遊ぶ】。()
- (2) 図書館で本を【読む】。()
- (3) 宿題プリントに【名前】を書く。()
- (4) 【明るい】電球につけかえる。()

ア 動きを表す言葉

イ 様子を表す言葉

ウ 物や事を表す言葉

単 元		年 組 番	4 問
三年 言葉について考えよう			
「言葉を分類する」 <small>わい</small>		氏 名	

問 「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」を使いながら、次の絵にかかれたことを、文で表しましょう。

<れい>



動きを表す言葉

あける うたう

様子を表す言葉

大きな 楽しそうに

物や事を表す言葉

口 かえる

① 大きな 口を あける。

② かえるが、楽しそうに うたう。



動きを表す言葉

様子を表す言葉

物や事を表す言葉

単元	年組番	
三年「修飾語」 <small>しゅうしごご</small>		
氏名		

主語・述語とは しゅご・じゆつ

- 「何が」「だれが」・・・を示す言葉を主語と言います。
- 「どうした」「どうする」・・・を示す言葉を述語と言います。
- 「わたしは手紙を書きました」という文章では、「わたしは」が主語、「書きました」が述語になります。
- 「手紙を」と言う言葉があると、よく分かります。

修飾語とは

よく相手に伝わるように、くわしくする言葉を修飾語と言います。

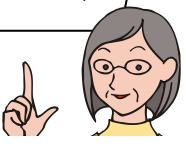
- 「わたしは、書きました」だけでは意味がよくわかりません。
- 「わたしは」 手紙を 書きました。
- 「わたしは」 おじいちゃんに 手紙を 書きました。
- 「わたしは」 きのおう おじいちゃんに 手紙を 書きました。
- 「わたしは」 きのおう 台所で おじいちゃんに 手紙を 書きました。
- 「わたしは」 きのおう 台所で 九州のおじいちゃんに 手紙を 書きました。
- 「わたしは」 きのおう 台所で 九州のおじいちゃんに 長い 手紙を 書きました。

だんだん分かりやすい文章になっていくのが分かります。「何を」「だれに」「いつ」「どこで」「どの」 「どんな」に当たる言葉を修飾語と言います。そのほか、「どのくらい」「どのように」に当たる言葉も修飾語になります。

主語や述語に「いつ」「どこで」に当たる言葉をくわえていくと、分かりやすい文章になります。それを修飾語というですね。



「わたしは、食べる」に修飾語をつけくわえると、分かりやすい文章にできますよ。



三年「修飾語」	単元	氏名	年組番
			13問

1 示している言葉を使って、主語と述語に修飾語をつけて、よく分かる文にしましょう。

(1)

いっ

どのように

どのの

花が、

さいた。

どんな

どのくいつい

2 □にあう修飾語を自分で考えて書きましよう。

(1)

いっ

弟が、

何を

見た。

(2)

どのの

ねこが、何を

どのように

おいかけた。

(3)

いっ

どんな

花びんが、どのように

われた。

三年「修飾語」 <small>しゅうしやくご</small>	単元
氏名	年組番
3問	

1 カードをならびかえて、よく分かる文にしましょう。

(1)

楽しく
うたった
わたしは
きのう
校歌を
教室で

(2)

花を
色とりどりの
母は
おばあちゃんに
五月
おくれた

2 主語と述語を決めて、自分で□に合う修飾語を考えて書きましょう。

主語

述語

単元	年組番	3問
三年「国語辞典 <small>じてん</small> のつかい方」	氏名	

いつ 使うの

「言葉の意味」が分からない

「言葉の使い方」を知りたい

すぐに国語辞典を手にとろう!!!

「漢字での書き表し方」を調べたい

自分の力でみつけよう

※国語辞典に取り上げられている言葉は、「見出し語」と呼ばれています。

見出し語の ならび方

どこに言葉がかかっているか、すばやくみつけることができるようになるろう。

言葉〈見出し語〉のならび方

- ① 五十音順(「つめ」・「はしら」を使いましょう)
- ② 「は」「ほ」「ば」の順。
- ③ 「ひらがな」は「かたかな」より前にある。
- ④ 「かたかな」の「ー」(のばす音)は「あ・い・う・え・お・」におきかえて。小さい「や・ゆ・よ・つ」は、大きい字の後に。
- ⑤

1 つぎの言葉は、どちらが先に出てくるでしょう。

- ・「いちじく」と「いちじ」 ()
- ・「すいどう」と「すいどう」 ()
- ・「びょういん」と「びょういん」 ()

言葉を調べることができる辞典

は、国語辞典だけではありません。

「漢字辞典」「ことわざ辞典」「名

言辞典」もあるのです。

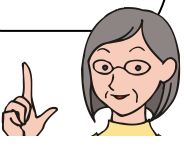


国語辞典には、身近な言葉の意味も分

かりやすく書かれています。思いついた

言葉をどんどん調べて、辞書を引くこと

になれていきましょう。



三年「国語辞典 <small>じてん</small> のつかい方	単元	年組番	8問
氏名			

1 見出し語(辞典に取り上げられている言葉)にしましょう。

文の中で、いろいろに形を変える言葉は、そのままでは辞典にはのっていない。見出し語にしてから調べましょう。

例 ①「遊んでいる」↓「遊ぶ」

②「かわいかった」↓「かわいい」

③「にぎやかな祭り」↓「にぎやか」

※ 言い切りの形にするとよいですね。

つぎの線を引いた言葉の見出し語を に書いて国語辞典で意味を調べましょう。

(1) くちばしでたたくたたきました。

意味

[

]

(2) きれいな音ではないけれど、

意味

[

]

(3) トマトの実が赤くなる。

意味

[

]

※ 意味を知っている言葉が、辞典でどのように説明されているか調べることで、ますます辞典のよさがわかります。

2 つぎの線を引いた言葉を国語辞典で調べ、どの意味が当てはまるか考えましょう。

(1) 姉が、あたたかいお茶をくれた。()

(2) 図書館まで行くには、二十分はかかる。()

※ その言葉を使ったみじかい文をヒントにするといいですよ。

三年「国語辞典 <small>じてん</small> のつかい方」	単元	氏名	年組番	8問

1 線を引いた言葉の意味を国語辞典で調べ、あてはまる漢字を後ろのから見つけましょう。

- (1) スープがあついで、すこしさまそう。()
- (2) 今年の夏は、とてもあついで毎日プールに行こう。()
- (3) 国語辞典ぐらいのあついで本を読んだ。()

厚い ・ 暑い ・ 熱い

※ 読みが同じとき、画数が少ない順にならんでいます。

2 国語辞典を引く練習をしましょう。

思いついた言葉を調べましょう。「調べた言葉に○をつけましょう。ほかに調べた言葉を()の中に書きましょう。」

- (1) 教室にあるもの
 黒板・まど・ろうか・ぞうきん・ランドセル・じょうぎ
 ()

- (2) 植物や動物の名前
 あさがお・ひまわり・ほうせんか
 犬・ねこ・たぬき・ぞう・さる
 ()

- (3) 校区の中で見かけたもの
 池・道路・郵便局・橋・川・しんごうき・電車・おうだん歩道
 ()

3 いろいろな言葉集めをしましょう。

- (1) はんたいの意味をもつ言葉
 広い↓() 大きい↓()
- (2) 外国から来た言葉
 ビロード(ポルトガル語) () パン()
 カード() カルタ()

単元	年組番	問
三年 まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう 「言葉で遊ぼう」「まを楽しむ」	氏名	

段落とまとめ

だんらく

○段落・・・文章を組み立てているまとまりのことで、はじめを一字下げで表す。
それぞれ、ひとまとまりのないようが書かれている。
○組み立て・・・「はじめ」「中」「おわり」
(大きなまとまりに分かれている。)
一つの段落でできていることも、いくつかの段落があつまっ
てできていることもある。

組み立て(言葉で遊ぼう)

はじめ	「問い」	①言葉遊びには、ほかにどのようなものがあるのか。 どのような楽しみ方をするのか。
中	「問い」にたいする 「答え」	②しゅれ ③回文 ④アナグラム ↓ それぞれの段落で、 下の順番で「問い」 にたいする「答え」 を書いています。 ・言葉遊びの名前 と説明 ↓ ・どんな遊びかを 例をあげてくわ しく説明 ↓ ・楽しさ
おわり	ぜんたい のまとめ	⑤三つの言葉遊びとその楽しさをまとめている。

次のことも気をつけておきましょう。
・時間を表す言葉やじゅんじょを表す言
葉、わけを表す言葉に気をつけて読
む。
・絵や写真と文章を合わせて読む。
・書かれていることと、自分の知ってい
ることをつなげて読む。
(教科書7ページを読みましょう。)



教科書50ページや127ペ
ージに、みなさんが楽しく
読める本がのっています。
段落やまとまりに気をつけ
ながら、読んでみましょう。
「たんぼのちえ」をもう
一度読み返すのもよいです
ね。



まとまりを
とらえて読む
と、ないようが
よく分かりま
すよ。

単元	年組番	2問
三年 せつめいのくふうについて話し合おう「すがたをかえる大豆」	氏名	

文章全体の組み立て

「はじめ」―これからせつめいする話題を、おおまかにしめしている。
 「中」―「はじめ」にしまった話題について、具体的なれいをあげて、せつめいしている。
 「終わり」―全体をまとめている。

せつめいの中心になる言葉や文をとらえる

段落の中で、中心になる言葉や文を見つけるときは、くり返し出てくる言葉や、問い・題名とつながりのある言葉などに気をつけましょう。

絵や写真を使ってせつめいする

何かをせつめいする文章では、絵や写真を使って、読む人にないようを分かりやすつたえようとする場合があります。
 文章だけではそうぞうしにくいもののせつめいに、絵や写真を使うと、分かりやすくなります。

1 教科書30〜35ページを読んで、文章全体の組み立てについて考えましょう。

- (1) 「はじめ」は、何ページ何行目までですか。 ()
- (2) 「終わり」は、何ページ何行目からですか。 ()

せつめい文を読む時には、文章を「はじめ」、「中」、「終わり」に分けて、おおまかな組立てを考えると、よく分かりますよ。



単 元	年 組 番	3問
三年 せつめいのくふうについて話し合おう「すがたをかえる大豆」	氏 名	

1 教科書42ページの「いろいろなすがたになる米」を読んで、「中」では、何が、どんな順序で、書かれているか左の表にまとめましょう。

おいしく食べるくふう	食 品
その形のままたく	白 玉

2 左の文章を「はじめ」、「中」、「終わり」の三つに分けます。「中」と「終わり」の最初の二文字を書きましよう。

「中」――（ ） ・ 「終わり」――（ ）

私の大好きなラーメン

黒瀬 宏道

私が一番好きな料理は、ラーメンです。一言でラーメンと言っても、いろいろな種類があります。

まず、豚骨ラーメンがあります。豚の骨を長い時間、煮込んだこってりとしたスープです。私の一番好きな店は、「久留米ラーメン」の老舗（古くからある店）で、二十四時間営業のA店で

次に、醤油ラーメンがあります。小魚やカツオブシ等でダシを取り、醤油を加えたあっさりとしたスープです。私が子どもの時に、父によく連れて行ってもらった千葉県「竹岡ラーメン」を代表するB店が、今でも懐かしく最も好きです。

また、味噌ラーメンがあります。豚骨等で取ったダシに、味噌を溶いた味わい深いスープです。一番おすすめのお店は、味噌ラーメンを最初に作ったとされる北海道の札幌市にあるC店です。

さらに、塩ラーメンがあります。キャベツやタマネギなどの野菜やリンゴなどの果物を煮込んだヘルシーなスープです。東北旅行で訪ねた「喜多方ラーメン」の名店であるD店が一番のお気に入りです。

このように、様々な土地に、いろいろなラーメンがあります。

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月

単 元	年 組 番	14 問
三年下 せつめいのくふうについて話 し合おう「すがたをかえる大豆」	氏 名	

すがたをかえるたまご

多くの人がほとんど毎日口にしてているもの一つに、たまごがあります。たまごは、さまざまな食べ方ができる食べ物です。たまごには、どんな食べ方やりようがあるでしょう。

いちばんかんたんな食べ方は、そのまま生で食べる食べ方です。たまごのからをわって中身をうつわに入れ、それに、しょう油をかけてかきまぜて、あついごはんにかけると、たまごかけごはんになります。

次に、ゆでる食べ方があります。ゆでると、ゆでたまごになります。からをむいて、しおをかけてそのまま食べたり、つぶして、マヨネーズとまぜてパンにはさんでサンドイッチにして食べたりすることができます。

その次に、にて食べる食べ方があります。からをむいたゆでたまごをつゆにつけてにると、おでんになります。肉ややさいを入れたしる物に、といたたまごをかけたにると、たまごとじになります。とり肉をたまごでとじて、ごはんの上のにせると、親子どんぶりになります。また、やく食べ方があります。たまごをわって、油をひいたフライパンに落としてやくと、目玉やきになります。といたたまごを少しづつフライパンに流してやいていくと、たまごやきになります。

それから、いためる食べ方があります。たまごをわって、バターをとかしたフライパンに落としてかきまぜていためると、スクランブルエッグになります。

さらに、といたたまごにだしじるややかまぼこ、しいたけなどを入れて、むすと茶わんむしになります。

これらのほかに、白味だけをかきまぜてつくるメレンゲもあります。メレンゲは、ケーキづくりに使われます。

このように、たまごには、いろいろな食べ方やりようがあります。昔から、たまごには、たくさんおいしいものがあると言われ、たいせつにされてきました。たまごのいろんな食べ方を考え出した昔の人々のちえにおどろかされます。

1 右の文章を「はじめ」、「中」、「終わり」の三つに分けます。

「中」と「終わり」の最初の五文字を書きましよう。

「中」―― ()

「終わり」―― ()

2 「中」は、どんなじゆんじよで書かれていますか。

()

3 食べ方とりようりの名前を次の表にまとめましよう。

食べ方	料理名
(例)そのまま	たまごかけごはん

4 これらのほかに、たまごを使ったりようりにどんなものがありますか。食べ方とりようりの名前を入れて二十五字以内で一文にまとめて書きましよう。

単元	三年 れいをあげてせつめいしよう 「食べ物のひみつを教えます」
氏名	
年組番	

食品のれいをあげて、食べ物のひみつについてせつめいする文章を書いてみませんか。せつめいする文章を書くときは、次のことに注意しましょう。

いろいろなすがたになる米

北九州 太郎

① 米は、イネという植物のたねです。たねのまわりには、もみがらというからがついています。もみがらをとるとき、種皮しゅひと胚芽はいがをとりぞいたものが、わたしたちが毎日食べている米です。かたい米は、そのままでは食べにくく、消化もよくありません。そのため、昔からいろいろな手をくわえて、おいしく食べるくふうをしてきました。



② **まず**、米をその形のままたいて食べるくふうがあります。米をといで、水につけてからたくと、ごはんになります。

③ **次に**、むして食べるくふうがあります。もち米という米をむして、うすときねでつくると、もちになります。もちつきもちつきのきかいきかいを使うこともあります。

④ **さらに**、こなにして食べるくふうもあります。もち米をこなにしたものに、水を入れて練ります。それをゆでると、白玉しらたまになります。

⑤ **このように**、米はくふうされて、いろいろなすがたになって食べられています。こんなにも食べ方がくふうされてきたのは、米が味もよく、からだに必要ひつやくなえいようえいようを多くふくんでいるからです。米のよいところよきところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえにおどろかされます。

★ 文章の組み立てを考える。

○ まず、「はじめ」「中」「終わり」に大きく分ける。
(赤色の部分)

○ ないようのまとまりごとに、段落段落を分ける。
(青色の部分)

○ 左の表のように書きたいことを整理すると、文章が組み立てやすくなる。

はじめ	自分がせつめいしたい「食べ物」について書く。 ・ 米は、イネのたね ・ 米の作り方 など
中	おいしく食べるくふうと、食品のれいを書く。 ・ その形のままたくー「はんむすーもち」 ・ 「こなにするー白玉」など
終わり	まとめを書く。「このように」という言葉でつなぐと書きやす

「まず」「次に」「さらに」「また」「このほかに」といった接続語を使うと、れいの順番の意味が読み手に伝わりやす

(黄色の部分)



終わり

中

はじめ

終わり

中

はじめ

単元	年組番	7問
三年 れいをあげてせつめいしよう 「食べ物のひみつを教えます」	氏名	

★ 次の作文を読んで、答えましょう。

魚は、昔から日本で多く食べられてきました。そのため、魚には、いろいろな食べ方のくふうがあります。

① ア ほして食べるくふうです。ほすと、長くほそんできません。いかを太陽の光に当ててほしたものが、するめです。ふかひれは、サメのひれをほしたものです。

② イ 小さい魚を生地にまぜて焼いて食べるくふうがあります。すりつぶしたえびを生地にまぜてうすく焼いたものが、えびせんべいです。

③ ウ 魚のすり身を練ってちがう食品にするくふうです。すり身を板につけてむしたものが、かまぼこです。すり身をぼうにまきつけて焼いたものが、ちくわです。

エ 魚は、くふうされていろいろなすがたになって食べられているのです。えいようたつぷりの魚をたくさん食べてください。

1 ア ウ イ エ に合うことばを線で結びましょう。

- ア ● 次に
- ウ ● まず
- イ ● このように
- エ ● さらに

2 ①～③に合う写真に番号を書きましよう。




単 元	三年 れいをあげてせつめいしよう 「食べ物のひみつを教えます」
氏 名	
年 組 番	
4 問	


1 組み立て表を見て、
 ① ② に入る文章をつくりましょう。

【組み立て表】


はじめ	○ 牛乳についてせつめいする。 ・ 母牛が出す乳が牛乳
中	○ 牛乳をおいしく食べるくふうと、食品のれいを書く。 ・ いる (練乳) ・ えいようを取り出す (生クリーム・バター) ・ 目に見えない小さな生物の力をかりる (ヨーグルト—乳酸菌— <small>にゅうさんきん</small>)
終わり	○ まとめを書く。




牛乳は、子牛を育てるために母牛が出す乳(ミルク)です。牛乳には、いろいろな食べ方のくふうがあります。
 まず、牛乳をにて食べるくふうです。さとうを入れてにると、いちごやかき氷にかけて食べる練乳になります。



①



②



かびの力をかりたものが、チーズです。種類によっては、一年以上かけて作られるものもあります。

このように、牛乳は、くふうされていろいろなすがたになって食べられているのです。えいようたっぷりの牛乳をすきになってください。

①

次に、()
 食べるくふうがあります。取り出した後、かきまぜて作られたものが、()
 () () ()
 です。

②